

企画展「時をきざむ三島の自然」実施要項

1 趣 旨

三島は3島が近い距離であるにもかかわらず、それぞれの環境は大きく異なる特徴がある。これは約7300年前の鬼界カルデラ形成にまつわる大爆発による影響と思われる。鬼界カルデラの外輪山に相当する竹島、今も火山活動が活発な硫黄島、大爆発の影響をある程度免れたであろう黒島はそれぞれ独特な自然をきざんできた。

生物の多様性が高い鹿児島県であるが、このように不思議な魅力にあふれる三島の自然について、県立博物館がこれまで収集してきた資料を用いて広く県民に紹介する。

2 期 間 平成27年3月21日(土)～6月14日(日)

開館時間 午前9時～午後5時

休 館 日 3/23(月), 3/25(水), 3/30(月)
4/6(月), 4/7(火), 4/13(月), 4/20(月), 4/24(金)
5/7(木), 5/11(月), 5/18(月), 5/25(月)
6/1(月), 6/8(月), 6/9(火)

3 会 場 県立博物館 本館1階企画展示室

4 入場料 無 料

5 展示内容

(1) **三島の位置** 【1面】

企画展の趣旨説明, 位置など

(2) **三島の地史～鬼界カルデラ～** 【2面～4面】

三島と鬼界カルデラ, 鬼界カルデラの驚異, 硫黄島の港の色, 鬼界カルデラ立体模型など

(3) **三島の植物** 【5～7面】

硫黄島の火山植生, 薩摩黒島の森林植物群落, 植生図, ツバキ・大名竹(リュウキュウチク) など

(4) **三島の昆虫** 【8～9面】

本土と屋久島にいて三島にいない昆虫, 黒島にいて硫黄島にいない昆虫,
ノコギリクワガタとミヤマクワガタ

(5) **三島の動物** 【10面～12面】

・甲殻類 ・貝類 ・貧弱な生物相 ・外来種(インドクジャク, イタチ, ヤギなど)
・三島の魚類

(6) **ジオパーク認定をめざす三島村** 【13面】

・ジオパークに向けて

(7) **三島の魚** 【中央】

・三島の魚類液浸標本(生態写真などと共に液浸標本を展示)
→本村教授(鹿児島大学総合研究博物館)に協力依頼

(8) **三島村の小中学校の成果** 【エントランス】

6 関連行事

(1) ミュージアムトーク 3/21(土), 4/4(土), 4/25(土), 4/29(水), 5/10(日)

(2) 講演会 4/29(水) 13:30～14:30 3階研修室
三島村役場職員: 大岩根 尚 氏 「三島ジオパーク構想」

5/10(日) 15:00～16:00 3階研修室
鹿大総合研究博物館 本村 浩之 教授 「三島の魚」

(3) 自然便り 2月号「三島の植物」 3月号「三島の昆虫」

4月号「三島の地質」 5月号「三島の動物」

(4) 科学教室 5/10(日) 「硫黄島の硫黄で花火を作ろう」(線香花火) 担当: 坂本

(5) 博物館まつり 5/17(日) ミュージアムトーク